

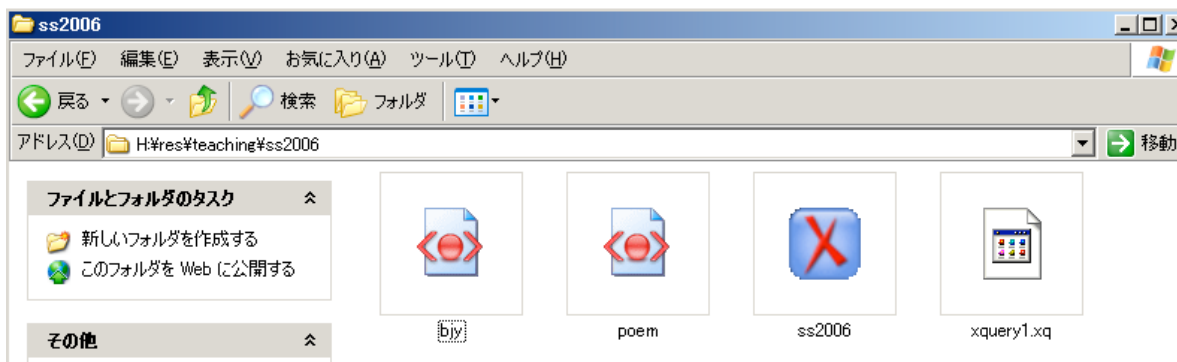
<oXygen/>で XPath と XQuery


1. 実習用ファイルを手に入して開く

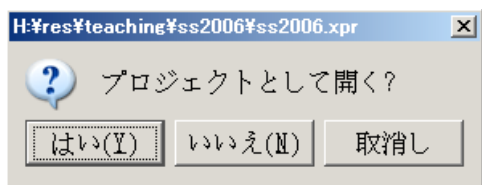
実習用ファイルは

<http://www.kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~wittern/course/ss2006/>

から入手できる。ss2006.zip をダウンロードして、デスクトップに保存して、そこで開く。デスクトップの上に ss2006 というフォルダが生じる。

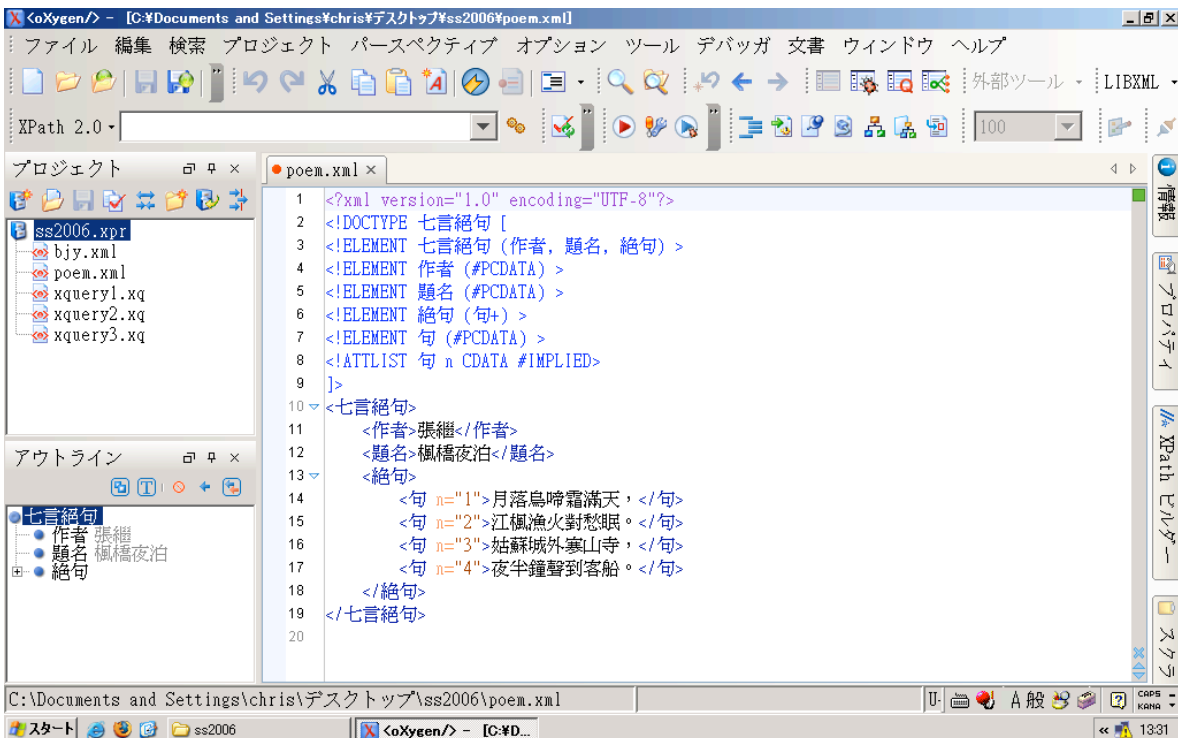


その中の  oXygen のアイコン (ss2006) をクリックして、そのファイルを oXygen で「プロジェクトとして開く」:

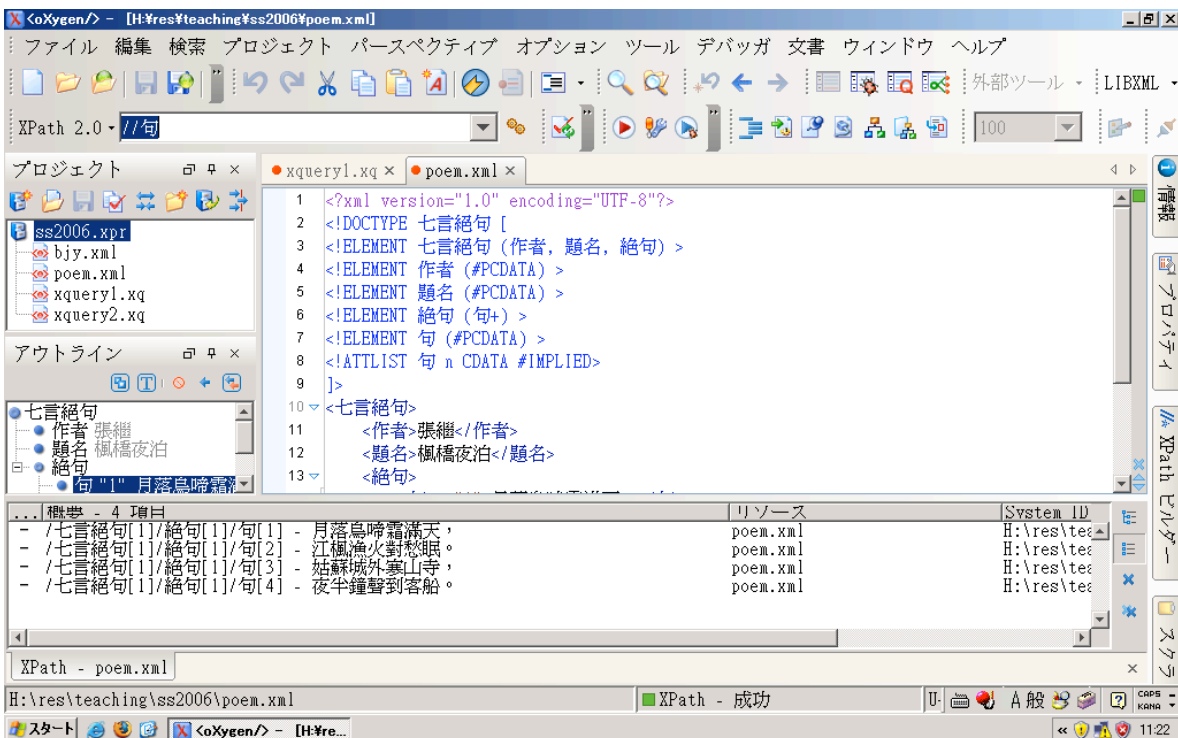


2. oXygen で XPath を実行

ファイルを開いた結果はこのように oXygen の中にサンプル XML 文書 'poem.xml' が開いた状態である。



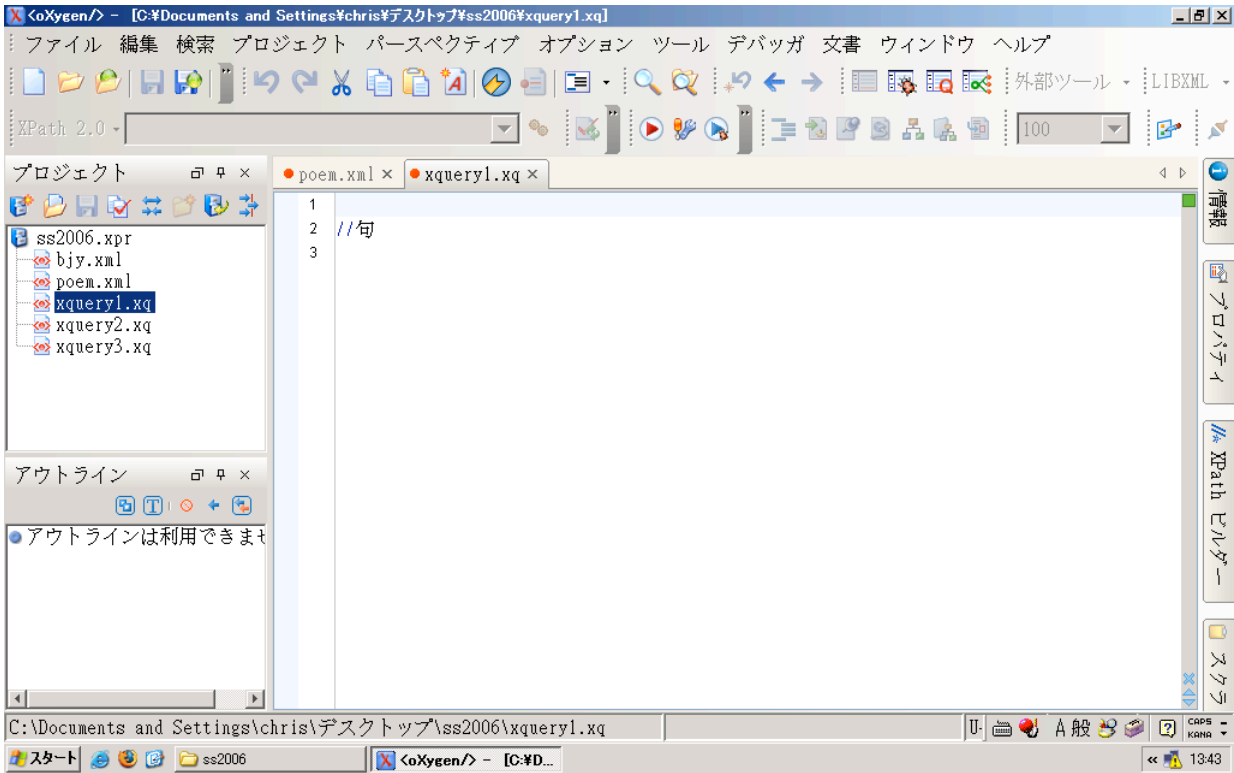
ここで左上に有る 'XPath 2.0' の検索口に XPath を入れて、実行する：



XPath の結果は下の新しい窓に表示される。

3. oXygen で XQuery を実行するための設定

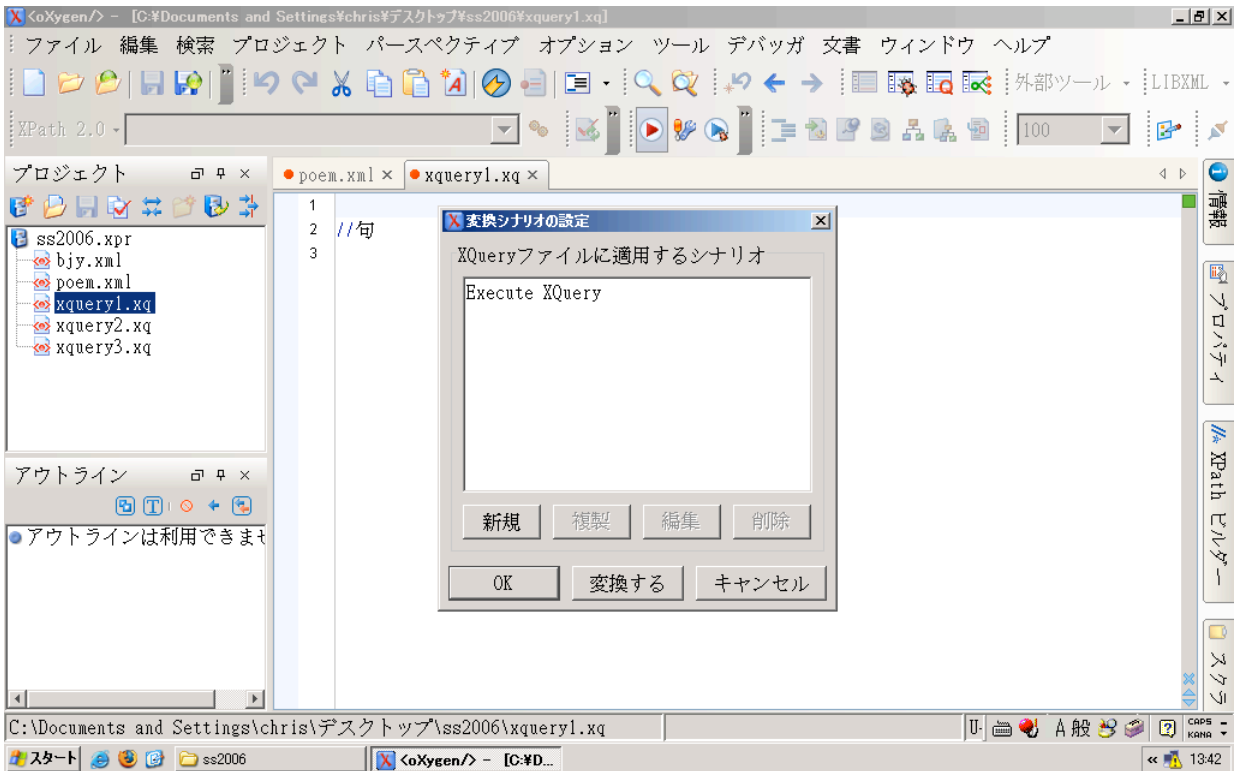
xquery1.xq は中心の窓が開いている状態で、



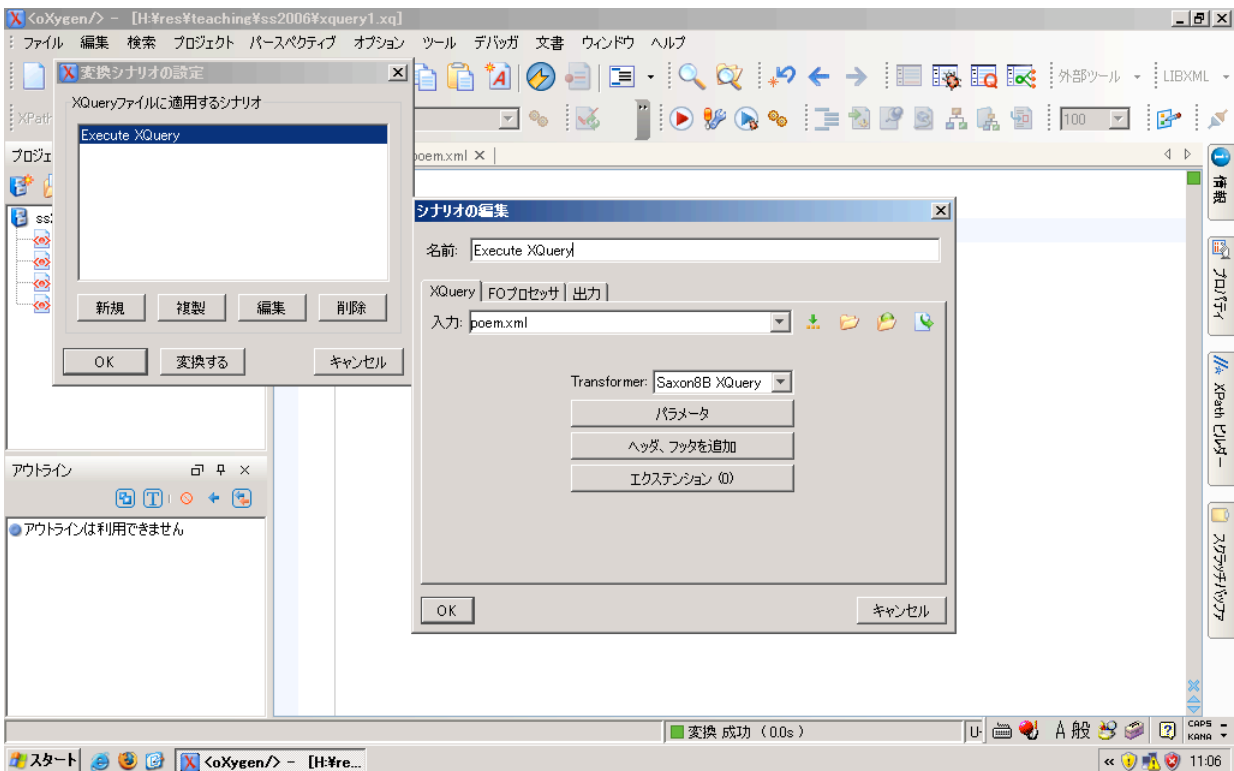
「変換シナリオの設定」という所をクリック：



これで XQuery 実行のための設定をする。



すると新しいダイアログ・ボックスが出るが、その中の' Execute XQuery' をクリックして、次に「編集」ボタンをクリックする。



「入力」の所に' poem.xml' という XQuery で入力する XML 文書のファイル名を指定して、「OK」をクリックする。

4. oXygen で XQuery を実行

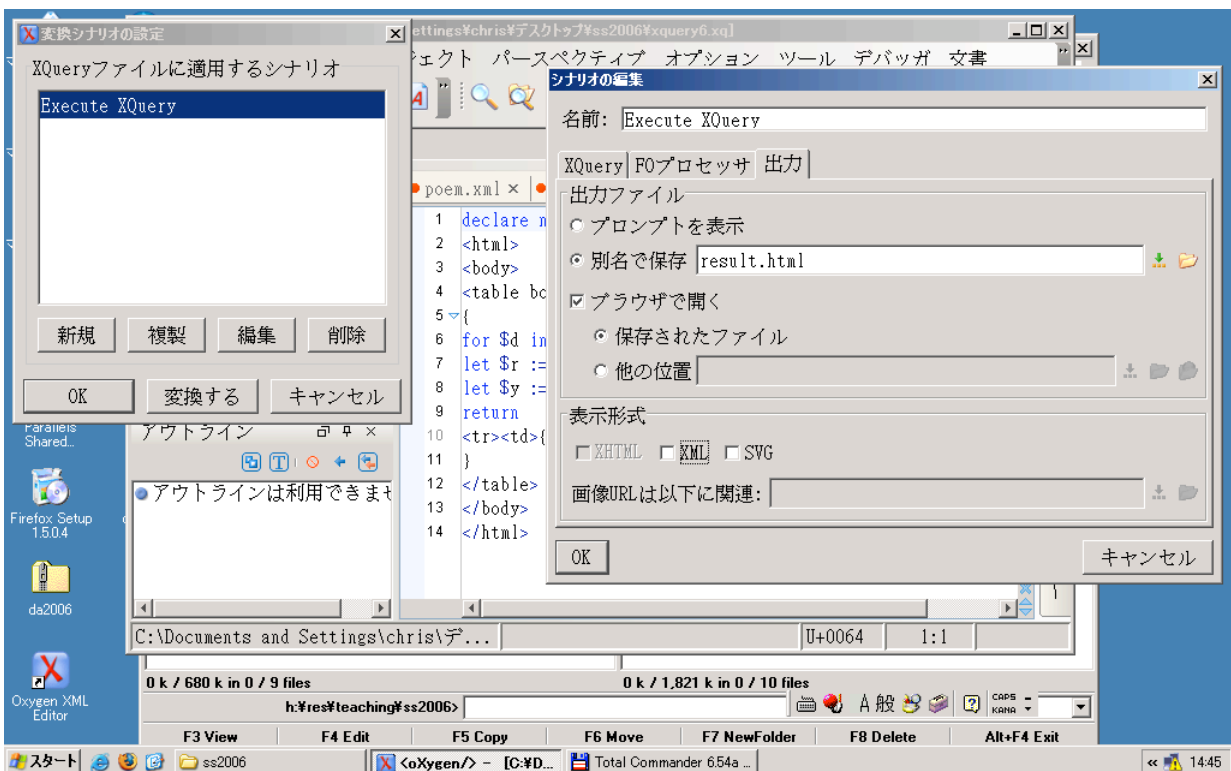
これで XQuery を実行することができる。



「変換の適用」のボタンをクリックして、XQuery を実行する。結果は下の結果表示用の窓で表示される。

5. XQuery の結果をブラウザでみる

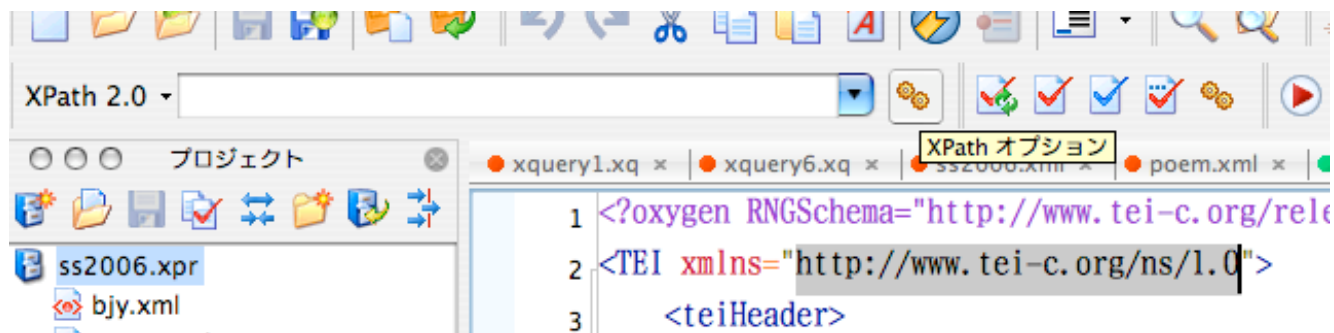
XQuery の結果を (HTML) ファイルに書き込み、ブラウザで閲覧することもできる。そのためにシナリオの設定を編集して、「出力」のタブで出力ファイル名を指定して、「ブラウザで開く」を選択する：



6. XPath デフォルト名前空間の設定

名前空間が宣言されたファイルに対して oXygen から XPath を実行するために「XPath デフォルト名前空間」を設定する必要がある。

そのために、まずエディタで開いてある XML ファイルから名前空間の文字列（“http://www.tei-c.org/ns/1.0”）をコピーする。それから oXygen の XPath 入力口の右側にある「XPath オプション」ボタンをクリックする：



次に XPath のオプション設定画面がでる。そこで左下にある「新規」ボタンで新しいマッピングを以下の通り作成する（左の 'Prefix' の下をクリック、'tei' を入れて、右の 'Namespace URI' の下をクリック、先程コピーした文字列を貼り付ける）、最後に「OK」で終わる：

